

2016/6/20

No. 46

スペシャルオリンピックス (SO) とは、知的障害のある人たちに、日々のトレーニングと競技会を通じて、自立と社会参加をサポートする国際的なスポーツ組織です。SO では、これらのスポーツ活動に参加する知的発達障害のある人たちをアスリートと呼び、多くのボランティアやアスリートのファミリーと一緒に活動を支えています。SO の活動は、すべて非営利活動で、運営はボランティアの方々の積極的な意思と、善意の寄付によって進められています。現在、世界 170 カ国以上で、約 400 万人のアスリートと 100 万人以上のボランティアが日常的なスポーツ・トレーニングに楽しく参加しています (2013 年 4 月時点)。競技会は地区レベルから世界レベルまであり、世界大会は夏季・冬季共に 4 年毎に開かれています。国内でも全ての都道府県に普及していて、富山では現在、約 120 名のアスリートが 11 種のスポーツプログラムと 1 つの文化プログラムに取り組んでいます (2013 年 4 月時点)。



2月12日(金)~14日(日) 2016年第6回 SON 冬季ナショナルゲーム・新潟に出場の富山選手団

今季のエッセイ

これまでの SO での活動を振り返って

SO に参加するきっかけは、会社の異動で、渡邊康広さん(ボランティア委員長)と同じ部署に配属されたことでした。色々な話をするうちに、小学校 4 年生から大学まで卓球をしていたことを話すと「うちの息子が卓球をしているから教えるのを手伝ってほしい」と言われました。自分も卓球ができるかもしれないという軽い気持ちで参加を決めたのです。

しかし、参加して思ったのは、「球が返ってくるぞ!!」。自分なりに頑張っ、球を返してくるアスリートのみんなの姿に驚きや感動を覚え、何とか伸ばしてあげたいという思いが、私を段々と SO に深く関わらせるようになっていきました。

初めて NG 福岡に参加した際もそれまで正式な大会に参加したことがなく、いくら同レベルのアスリートでディビジョニングが組まれても、卓球はそんな簡単じゃないことはわかっているので、果たして自分が教えているアスリートがどこまでできるのが全く検討のつかない不安な状態でした。しかし、自分より強いアスリートに向かっていき、互角のラリーを行う姿にも感動を覚えました。また、アスリートが試合前や試合中に選手団席にいる私を探し、目が合った瞬間に

スポーツプログラム副委員長 岡田 励

頷くといったことがあり、アスリートと 1 つになれたような気がして、うれしく思いました。NG 福岡も自分の SO への思いを強くしたイベントでした。

そんな経験をさせてもらったので、何かアスリートのみんなに返せるものはないのかと思い、最近では自分が教えている卓球のアスリートのみんなのことを考える時間が多くなりました。どのようなプログラムを実施するとアスリートの体力や競技能力を伸ばしてあげることができるのか、またどのような声掛けを行うと精神的にも伸ばしてあげられるのかを考えています。そんなことを考えていると他地区ではどんな教え方をしているのか等、もっともっと知りたい、学びたいという思いが強くなっています。これから色々なことを学び、経験し、共に成長していけるような関係を築ければと考えておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、このような機会を与えて下さいました SON・富山の皆様には本当に感謝しております。この場をお借りして、お礼申し上げます。また、今後ともよろしくお願い申し上げます。

■コーチクリニック 競技：フロアホッケー

2015年12月6日(日)、コーチクリニックが開催されました。種目はフロアホッケーです。今回は3回目のコーチクリニックとなります。

午前中のゼネラルオリエンテーションとアスリート

●午前：ゼネラルオリエンテーション



午前中は、不二越工業高校研修センターで開催され、約40名が参加しました。



講師の渡邊務ナショナルトレーナーです。もう、お馴染みですね！今回も楽しいお話を交えてお話をいただきました。



午前の部が終わり参加者に修了証が渡されました。

●午後：実技



フロアホッケー講義・実技はスポーツトレーナー戸田武宏さんです。

始めに、フロアホッケーについてテキストに添って競技ルール説明されました。



スティック・パック・ゴール用スティックなどの用具の説明をしていただきました。アスリートがゲームで学ぶものは大きい！との事で…実技の会場の不二越体育館へ移動。



グリップは モップもち・ほうきもち・掃除機をかけるようにと 初心者にもわかりやすく説明して下さいました。



実際にトレーニングしてみました。



パス！



シュート！



←パス・チェック・シュート・フェイスオフと一通りの指導を受けてから実際にゲームをしました。

実技が終わって修了証が渡されました。→参加されたファミリーもアスリートと共にルールを学びゲームを楽しみながらとても充実した時を過ごす事が出来ました。



■クリスマス会

2015年12月20日(日)、富山電気ビルディング5階大ホールにて、2015年SON・富山クリスマス会が行われました。藤井会長の挨拶の後、山本肇副会長がサンタクロースに、2人の息子さんがクリスマスツリーとガチャピンになり乾杯のご発声を頂きました。一皿ずつ盛り付けられたおいしい料理にアスリートの笑顔が見られます。

文化プログラムでお馴染みの道下先生と中野先生

と道下先生の旦那様の演奏から、『365日の紙飛行機』、『太陽にほえろ』のテーマ、『ゲゲゲの鬼太郎』、『サザエさん』といった、今年の話の曲や、大人も子供も知っている曲などで会場は盛り上がりました。

更に盛り上げてくださったのは射水市を中心に活動している、『私設応援団～湊や～』さんです。よさこいとやま2015大賞を受賞したチームです。迫力のある演技に大いに盛り上がりました。



「乾杯！」サンタさん(山本副会長)と息子さん達です



美味しそうなステーキにナイフとフォークの扱いも手慣れたもの



道下先生とご主人と中野先生の演奏で文化プログラムの発表が始まります



『ありがとうの花』を手話を交えて歌います



会場のみなさんで、嵐の『Happiness』を歌って楽しく踊りました



迫力あるよさこいを演じる“湊や”のみなさん



クリスマスプレゼントはくじ引きです(空くじなし)



おいしそうなケーキがプレゼントでした



参加者全員と“湊や”のみなさん

■グラウジーズホーム戦のイベントに参加

2015年12月27日(日)富山県総合体育センターにて富山グラウジーズホームゲームでのイベントが開催されました。最初にバスケットボールプログラムに参加しているアスリートによるエキシビジョンマッチ開始。プログラムで行われているアスリート同士のゲームを『リアルな音響効果』『実況アナウンス』『選手入場コール』『会場からの大歓声』の中でゲームをしました。

グラウジーズホームゲームの始球式にアスリート代表(キャプテン)がフリースローを行いました。緊張の一瞬でしたが選手の健闘に暖かい盛大な拍手が贈られました。

ハーフタイムでは、感謝状贈呈式のセレモニーが行われました。SON・富山の活動に対する理解と多くの支援に藤井会長から黒田社長に感謝状が渡されました。



エキシビジョンマッチの様子



コーチ・アスリート・ファミリー・会場のみなさんの見守る中…始球式の様子



感謝状贈呈後の記念撮影

■2016年第6回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・新潟

2016年2月12日(金)～14日(日)の3日間、新潟市と魚沼市で「冬季ナショナルゲーム・新潟」が開催されました。富山選手団は、アスリート16名とコーチ、スタッフ合わせて26名、アルペンスキー、フロアホッケーの2競技に参加しました。

■富山選手団が県庁を訪問

2016年02月01日(月)、SOの全国大会「2016年第6回SON冬季ナショナルゲーム・新潟」に出場する富山選手団の代表が富山県庁に井内努厚生部長を訪問しました。訪問したのは、本田智寛富山選手団団長と、杉森建彦さん(フロアホッケー競技出場)、上卓さん(フロアホッケー競技出場)、岩瀬真奈さん(アルペンスキー競技出場)ら3人のアスリート、佐伯秀彦アルペンスキーコーチの5人で、SON・富山の五十嵐顧問、藤井会長、山崎副会長、吉田事務局長、ファミリーと共に厚生部長らに大会に対する意気込みを伝えました。



■出発式

12日朝の7時、新富観光サービス(株)バスセンターにNG新潟富山選手団が集合、出発式が行われました。早朝でとっても寒いのですが、アスリートは元気いっぱいです。藤井会長が駆けつけてくださいました。

「今日はとても良い天気で、SON・富山のアスリートの活躍を祝っているようです。」藤井会長より激励の言葉をいただきました。

みんなで「頑張るぞー、オー！」

アスリートも元気満々、やる気満々です。



■開会式の会場

今大会は、31地区より選手団943名(アスリート610名、コーチ・役員329名)が参加し、延べ4,100名のボランティアの方々のご協力の下、開催されました。来年オーストリアで開催される2017年スペシャルオリンピックス冬季世界大会の日本選手団選考も兼ねています。

会場となる朱鷺メッセは新潟市の中心部、信濃川の河口にあり、展示場や会議室を完備したコンベンションセンターとホテルなどが一体化した新潟市のランドマーク的存在のビルです。

『トキめけ キラめけ 力いっぱい 心いっぱい～ 支えあう笑顔 ひろがる勇気 感動を新潟から～』のスローガンの下、開会式が行われました。(開会式HAP、閉会式の様子は、SO日本、NG新潟の公式写真をご覧ください。)

今大会を目標に日々のトレーニングに励んできたアスリートたちが会場で開会式を待ちます。 →



★アルペンスキー「南魚沼市五日町スキー場」

アルペンスキーでは、アスリートはジャイアントスラローム上級に2名、中級に2名が出場しました。例年たっぷりに雪を蓄えているはずの五日町スキー場は春の陽気です。2日目はなんと雨、気温が高く時々ガスがかかって見通しが悪くなることもありま

した。土もあちこちに見えます。コースを整備するのも大変だったと思います。富山のホームグラウンドも雪不足で練習は十分ではありませんでした。でもサポートに尽力したコーチや熱い声援を送ったファミリーの期待に持っている力を発揮し応えました。



スタート地点のアスリートの様子です



青いラインに沿ってゴールを目指します



FINISH!



わくわくの表彰式 金メダル



銀メダル



2007年ミスユニバースの森理世さんと一緒に

競技の結果

- ・岩瀬真奈 : 中級 Div F02 金メダル
- ・林 知佳 : 中級 Div F03 6位
- ・毛利優樹 : 上級 Div M01 銀メダル
- ・大角拓海 : 上級 Div M03 6位



最後は笑顔 アスリートとコーチ

★フロアホッケー「新潟市朱鷺メッセ」

毎回全員で勝利を目指すことを目標に全力で頑張るアスリート12名が出場しました。1日目の予選でディビジョンⅢに決定。決勝リーグに挑みました。7名のコーチとファミリーが見守る中、いつも通りのプレーをしながら全員がパックに触り前大会よりも多くのアスリートが得点をあげることができました。

連戦による疲れとそれぞれに難しさがあつた大会でしたがアスリートは自分の力を精一杯発揮し素晴らしいプレーを見せてくれました。皆様の応援や協力を頂き怪我や病気なく無事笑顔で全試合を終えることができました。



競技の結果

決勝リーグ【ディビジョンⅢ】

- 富山 VS 神奈川(9ライン) 3位決定戦
- 富山 VS 大阪(9ライン) ○富山 VS 神奈川(9ライン)
- 富山 VS 山梨(9ライン)

3位(銅メダル)

試合直前、全員で円陣を組んで気合を入れます



試合開始! ↓



キャプテン! シュート! 速くてパックが見えません



■総会報告

2016年2月21日(日)、富山市障害者福祉プラザ多目的ホールにて、SON・富山2016年度定期総会が開催されました。約70人の出席で、藤井裕久 SON・富山会長ほか、役員の方々のご挨拶の後、議事が進

められました。各報告・議案について原案通り承認されました。

新しく役員、運営委員が紹介され、新体制でスタートします。



藤井会長



鋪田監事



山崎副会長



左から、新会計宿屋さん、新本田 SP 委員長、新宮崎広報副委員長、新中山医療・安全対策委員長、新方堂医療・安全対策副委員長

総会閉会后、「2016年第6回 SON 冬季ナショナルゲーム・新潟」の参加報告を兼ねて活躍したアスリートの画像がスライドショーで流れました。本田団長より競技の結果等の報告がありました。出場したアスリートからも感想とお礼の言葉が一人ひとり述べられました。



休憩を交えてファミリー全体会が行われました。上ファミリー副委員長の進行で事務局、SP 委員会、医療・安全対策委員、ファミリー委員会と順に提案され、説明がありました。ファミリー意見交換会では定番の行事以外の行事の要望や質問、疑問などたくさんの意見が交わされました。

支援自販機の設置にご協力ください

SON・富山では支援自販機の設置を進めております。これは、自販機で飲料を購入すると、北陸コカ・コーラボトリング(株)様を通じて SON・富山に売上の一部を活動費として賛助頂くものです。富山では10台の設置を当面の目標として取り組んでおり、第一号となる支援自販機を射水市内に設置いたしました。

支援自販機は、活動資金のみでなく、広く一般の方に SO の活動について知って頂く PR の役割もあります。

みなさまのご近所やお勤め先などで、支援自販機の設置にご協力頂ける方がおられましたら、是非事務局までご連絡下さい。



■2016年スペシャルオリンピックス日本・福岡設立20周年記念全国卓球競技会に参加

2016年スペシャルオリンピックス日本・福岡設立20周年記念全国卓球競技会が5月14日(土)・15日(日)、福岡県春日市総合スポーツセンターで開催されました。アスリート3名、コーチ1名と応援ファミリー5名で試合に望みました。富山のアスリートはこの競技会に向けてたくさん練習を重ねてきました

た。
会場は4月に開館したばかりの新しい施設です。青の仕切り板が整然と並び映えます。初日の予選リーグは個人技能競技のスコアを基にしたディビジョニングによる5分試合で進められました。いつもの練習の成果を発揮し頑張りました。



春日市総合スポーツセンター



整列してから予選が始まります
予選を終えて・・・



始まりました



地震の被害にあったSON・熊本のアスリートたちも参加できてホッとしました。会場には熊本を応援するメッセージ板が貼られ、富山のアスリートも応援メッセージを書きました。閉会式に募金と合わせてSON・熊本に贈呈しました。



<2日目>5月15日(日) 決勝

翌日、予選リーグでの結果で新たにディビジョニングが決定され、いよいよ決勝リーグです！決勝リーグは11点ゲーム。5ゲームスマッチで行われました。苦戦もしましたがアスリートの素晴らしいラリーも見る事ができました。結果は少し悔しさが残りましたがこれからの目標もできました。課題も見えました。



頑張りました！



一生懸命にやりました



悔しさが残ります



閉会式を終えて：富山選手団とファミリー

閉会式では、フィナーレアトラクション・ダンス2001パフォーマンスが始まりました。さっきまでしょんぼりしていたアスリートはいつもの元気を取り戻してみんなと一緒に踊りました。(立ち直りは早い)
競技会の開催にあたってくださった福岡の関係者の皆様にはご苦労もあつたかと思ひます。アスリートは少し成長して帰ってきました。卓球を通じた交流の輪を広げ、またアスリートの個々の自立をめざしてこれからのプログラムを一層頑張りたいと思ひます。
また競技会参加にあたり募金サイトREADYFOR(クラウドファンディング)から選手団派遣費用にご支援くださいました皆さま、本当にありがとうございました。

■事務局から

2016年度上半期プログラムは、すべて無事に終了いたしました。ボランティアの皆様、大変お世話になり、ありがとうございました。

間をおかず、早速に下半期プログラムがスタートしております。今季もアスリート、ボランティア、ファミリーそれぞれに、楽しく実り多いプログラムになることを願っております。

こうしたSOの活動を継続し広げていくには、ボ

ランティアの皆様の御力なくしてはできません。SON・富山ではご協力いただけるボランティアさんを常時、大募集しております。皆様のお仲間やお知り合いにボランティアとしてご参加いただける方がおられましたら、ぜひお声がけをよろしくお願いいたします。

夏間近、蒸し暑い日々が続きますが、どうか体調にお気をつけてお過ごしください。

<賛助金・寄付金をお寄せ下さった皆様(2015年12月1日~2016年5月31日)>

敬称略

小野澤 豊造			戸田 一郎		
松倉 峰江		安吉 佐知恵		素谷 孝子	
井尻 宏一		木村 聡子		奈辺 隆	
下条 竜一		佐藤 和彦		花木 典子	
巻端 克文		佐藤 昌子		林 紀子	
三松 隆之		素谷 宏		福島 茂次	
青島 遥	荻野 英朗	佐々木 陽子	東井 晃一	藤井 英敏	山岸 誠二
青島 浩幸	柿谷 岳志	宿屋 美由起	戸田 薫	藤井 由可子	山岸 明子
旭 雄士	河合 牧子	荘司 絵美	長江 幸代	藤田 英治	山口 修
旭 桐子	川原 隆士	姿 駿成	長久 慎吾	本間 一正	山口 恵美
幾島 浩	槻 栄一	杉森 真一	西野 淳子	本間 尚美	山崎 政行
幾島 敦子	河内 雅人	杉森 弘子	中田 彩子	増岡 涼	山本 廉
市田 路子	佐伯 秀彦	高井 博	橋場 元	三上 裕之	若松 文枝
大角 拓海	笹井 隆康	高見 豊	林 繁信	宮下 洋子	
岡部 敬	佐々木 啓三郎	田村 紳	藤川 智	村中 大治	
宝島 恵子	道寛 寿幸	中川 佳秀	中川 亜希子	花木 和樹	開 拓人
大谷製鉄株式会社					
(有)シャトル			社団法人富山県手をつなぐ育成会		
(株)古栢建設			小栗小児科医院	北酸テクノサービス(株)	

賛助金・寄付金振込先

スペシャルオリンピックス日本・富山
(日本は、「ニッポン」としてください。)
北陸銀行本店(店番101)、普通口座 5308370
ゆうちょ銀行 00720=0=38833

賛助金

<個人> 一口 3,000円
<企業・団体> 一口 10,000円

ありがとうございました。

※お問い合わせは、SON・富山事務局あてメールもしくはファックスをお願いします。

未来の地球を支える子供たちへ...



Kids' ISO 14000 プログラム

Kids' ISO14000プログラムは、家庭の身近な省エネ活動を通じ、自ら進んで環境保全活動に取り組める子供たちを育成することが狙いです。

私たち富士ゼロックス北陸は、この趣旨に賛同し、近地域の小学校におけるプログラム実施をサポートしています。

富士ゼロックス北陸株式会社
富山事業所/富山市新町5-3
TEL: 076-431-2121
本社/石川県金沢市中橋町11-18
TEL: 076-260-0900

富士ゼロックス北陸株式会社は、
スペシャルオリンピックス日本・富山
の活動を応援しています。

※このハートフルニュースの印刷は、
富士ゼロックス北陸株式会社富山事業所様にご協力いただいております。



感動・興奮の瞬間を共に
いよいよ今秋B.LEAGUE開幕!

記念すべきホーム開幕戦は、
9月24日・25日 富山市総合体育館にて!
VS 新潟アルビレックスBB



富山グラウジーズはスペシャルオリンピックス日本・富山を応援しています

グラウジーズ最新情報

WEB <http://grouses.jp/>
Facebook http://www.facebook.com/toyama_grouses